

県立豊岡聴覚特別支援学校 いじめ防止基本方針

1 本校の基本方針

本校は、かけがえのない命を大切にし、人権を尊重する心を育み、地域から信頼される学校づくりを進めるため、教育目標のひとつに「命と人権を大切にし共に生きる心の育成」を掲げる。

すべての幼児児童生徒が心身ともに安全で充実した学校生活を送るよう、全教職員によるいじめ防止に向けた指導體制を構築する。いじめの未然防止を図りながらいじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は適切かつ速やかに解決するために「学校いじめ防止基本方針」を定める。

2 基本的な方向

本校は、少人数の幼児児童生徒に複数の教員が学級を担当する体制をとっており、個々の幼児児童生徒の学校生活や家庭生活の状況について複数で情報共有し、担当幼児児童生徒のわずかな変化に気づき・対応を図っている。また、寄宿舎においては、各指導員が舎生に関わり、変則勤務であっても舎生にかかる情報を確実に引き継いでいる。

保護者とは連絡帳や送迎時の引き渡し等を活用して、連携を密にとりながら、自分の感情や意図を表現することが難しい幼児児童生徒の心理的な反応や行動の変化に気づき、理解するよう心がける。

いじめについては、「いじめはどの学校でも起こり得る」「人として許される行為ではない」と認識し、幼児児童生徒間の好ましい人間関係を築き、いじめの防止等を包括的に推進する。

3 指導體制・組織的対応等

(1) 日常の指導體制

いじめの防止等に関する取組を実効的に進めるため、管理職を含む複数の教職員、心理等に関する専門的な知識を有するその他関係者で構成される教育相談、生徒指導などの校内組織及び外部の関係機関を別に定める。

また、いじめは教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が幼児児童生徒の小さな変化を敏感に察知し、早期発見するためのチェックリストを別に定める。

(2) 未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめの防止の観点から、学校教育活動全体を通じて多様な取組を体系的・計画的に行うため、ア) 包括的な取組の方針、イ) いじめの防止のための取組、ウ) 早期発見の在り方、エ) 教職員の資質能力向上を図る校内研修などを含めた年間の指導計画を別に定める。

教職員は「子どもがいるところには教職員がいる」という体制づくりに留意し、幼児児童生徒との信頼関係を築きながら、気軽に相談できる環境整備に励む。また、教職員自らが心通いあう学校づくりを推進し、協力協働体制を構築する。

(3) 緊急時の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報の収集と記録、共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめを解決するための組織的対応を別に定める。

4 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

重大事態とは、「いじめにより幼児児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」をいい、いじめを受けた幼児児童生徒の状況で判断する。本校の場合、たとえば、精神的に極度に不安定な状況に追い込まれた場合や身体に重大な傷害を負った場合、金品等に重大な被害を被った場合などのケースが想定される。

また、いじめにより幼児児童生徒が「相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき」の「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえて年間30日を目安とする。ただし、幼児児童生徒が一定期間、連続して欠席しているような場合には適切に調査し、校長が判断する。

また、幼児児童生徒本人や保護者からいじめにより重大事態に至ったという申し立てがあったときは、校長が判断し、適切に対応する。

(2) 重大事態への対応

校長が重大事態であると判断した場合、直ちに県教育委員会に報告するとともに、校長がリーダーシップを発揮し、学校が主体となって、いじめ問題対応委員会に外部の専門家等を加えて、事態の解決に当たる。

なお、事案によっては、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力し、事態の解決に向けて対応する。

5 その他の留意事項

家庭及び地域と連携・協力し、地域に開かれた安全・安心な学校づくりを目指している本校は、これまでも保護者や地域に向けて情報発信に努めてきた。いじめ防止等についても、学校の基本方針については、学校評議員会やPTA総会をはじめ、保護者懇談、家庭訪問などの機会を通じて本校のいじめ防止等の取組について理解・協力を図る。

また、本基本方針が実情に即して効果的に機能しているかどうかについて、「いじめ問題対応委員会」を中心に点検し、必要に応じて見直す。基本方針の見直しに際しては、学校全体でいじめの防止等に取り組む観点から幼児児童生徒及び保護者の意見を聴取するなど、いじめの防止等について当事者の主体的かつ積極的な参加が確保できるよう留意する。